

概要

波ダッシュとは、記号の一種で、波打った形をとるダッシュ記号です。

用法としてはダッシュと同様です。期間や区間の範囲を示すために頻繁に用いられます。例えば「月曜から金曜」「ニューヨークからボストン」などの「から」を波ダッシュで表記します。

直線のダッシュ記号 (1 面 1 区 29 点、EM DASH) は、和文では片仮名の音引き「ー」や漢数字の「ー」と紛らわしいことがあります。が、波ダッシュにはそうした問題がありません。

JIS X 0208 ならびに JIS X 0213 における波ダッシュ

波ダッシュは JIS X 0208 の 1 区 33 点にあります。したがって、JIS X 0213 では 1 面 1 区 33 点です。この符号位置は Shift JIS の符号化表現では 0x8160 にあたります。文字名は WAVE DASH と規定されています。日本語通用名称は「波ダッシュ」です。

Unicode における波ダッシュ

U+301C に波ダッシュ (WAVE DASH) があります。Unicode 2.0 仕様書にはこの符号位置に「JIS punctuation」との説明があり、JIS の波ダッシュと対応づける意図が明確です。

また、Unicode と同等の国際規格 ISO/IEC 10646 の翻訳規格 JIS X 0221 の 1995 年版でも JIS の 1 区 33 点の波ダッシュを U+301C に対応付けており、各文字に文字名を規定するようになった JIS X 0208:1997 はそれを反映して 1 区 33 点に WAVE DASH という文字名を与えました (日本語通用名称はそれ以前から「波ダッシュ」)。このように、Unicode の U+301C WAVE DASH が JIS の 1 区 33 点の波ダッシュに対応することは一貫しています。

ただし、一部のコード変換の実装では JIS の波ダッシュを誤って U+FF5E (FULLWIDTH TILDE, 「全角チルダ」) に対応づけてしまうものがあり、文字化けの原因となっています。これが世に言う波ダッシュ問題です。

■ 仕様書の例示字形

Unicode 仕様書には、以前の版において、波ダッシュの例示字形が通常見られる形と位相が逆転したような形に印刷されている問題がありました。現在の版では一般的な形に修正されています。

関連項目

- ・ 波ダッシュ問題